

第35回企画専門調査会(平成22年9月28日)資料
 「(平成22年度)食品安全委員会が自ら行う食品健康影響評価の案件候補について」抜粋

物質名(危害要因)	主要な物質(危害要因)に関する概要	国内外における状況等
フリーラジカル	<p>一般に、原子あるいは分子の電子は2個で対をなしている状態で安定しているが、フリーラジカルでは、1つの電子しかなく、極めて反応性が高く非常に不安定な存在である。</p> <p>フリーラジカル(活性酸素)は、食品の酸化腐敗、プラスチックなどの有機工業製品の劣化を起こすほか、生体内で発生し、過酸化脂質の生成、たんぱく質の変性、DNAの損傷などの有害作用を引き起こす。</p> <p>食品中にフリーラジカルの状態で存在することは考えにくく、食品にフリーラジカルが含まれているということを示唆する情報は現在のところ見当たらない。</p>	<p>〈国内〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 食品安全委員会による評価状況：なし <p>〈国外〉</p> <p>食品中にフリーラジカルが存在するという情報は現時点では、見当たらない。</p>